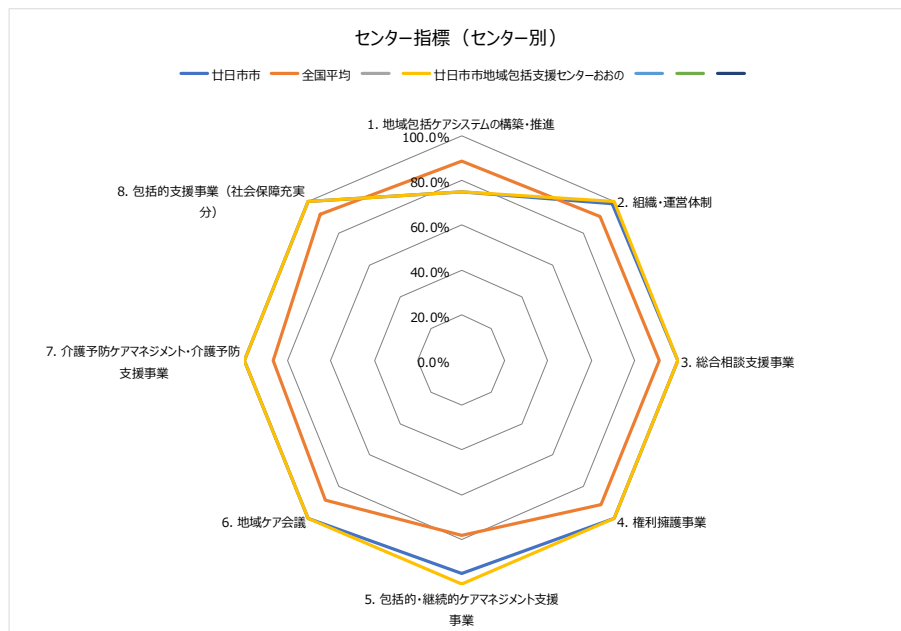


令和8年3月9日

図：地域包括支援センターおおのの取組状況（令和6年度）



1. センター：自センターの課題（機能強化すべき評価分野や活動目標）は何ですか？

- ①複合的な課題を抱えるケースが増加しており、包括のみでの対応が難しい事例が増えている。
- ②地域ケア会議での検討が地域づくりや社会資源の創出に十分結びついていない。

2. センター：自センターの課題はどのような背景から生じているのでしょうか？

- ①85歳以上の人口の増加に伴い、認知症や生活困窮、8050など問題が顕在化した段階では支援が困難となる場合がある。
- ②圏域が広く、現状の地域ケア会議では、地域の実情に応じた地域づくりや社会資源の創出を進めることが難しい。

3. センター：課題の解決に向けて活用できる自センターの強みは何でしょうか？

- 行政関係機関、社会福祉協議会、地域団体（コミュニティ）等と連携し、課題についてと協働して検討ができる。

4. 課題の解決に向けた目標とそれを達成するための取組を考えましょう。

- ①個別ケア会議（重層的支援会議等）の活用や一体的支援事業等の実施を通じて実態把握を強化する。
- ②地域課題についてコミュニティのような身近な単位で出前型地域ケア会議を開催し、地域づくりや社会資源の創出につなげる。